グローバル・カフェ「フィンランド語入門」を実施しました

2024 年 10 月、フィンランドに 20 年在住した経験をお持ちのインターナショナルオフィス 植村 友香子 特命准教授より学ぶ「フィンランド語入門」を、以下の通り実施しました。元々はグローバル・カフェのみでの開講予定でしたが、キャンパスが異なる農学部学生らからの強い要望があり、三木町にある農学部キャンパスでの講座実施も実現しました。計 6 回延べ 54 人が受講しました。

日時：2024 年 10 月 8 日、15 日、22 日
場所：グローバル・カフェ

日時：10 月 9 日、16 日、23 日
場所：三木町 農学部キャンパス

フィンランド語の母音は 8 つ（a,o,u,ä,ö,y,i,e）で、全ての母音に長短の区別があります。長母音は母音を 2 つ並べて書くことで区別され（aa,oo,uu,ää,öö,yy,ii,ee)、「あー」とか「うー」のように長く引き伸ばした母音を指します。植村先生より「日本語の発音と似ているところもあるので、日本人には比較的発音しやすい」と励まされながら、参加者は「y」（ウとイの間のような音)や、「ö」(「エ」と言ったまま口をすぼめる）といった音に苦戦しながら、発音の練習を行いました。

フィンランド語は名詞、形容詞、代名詞、数詞が多くの「格」によって変化します。これにより、文中での単語の役割が明確になるとのこと。動詞は、主語の人称と数(単数、複数)に基づいて活用します。「olla(～である)」の現在形を例に挙げると、私は～です「minä **olen**」、あなたは～です「sinä **olet**」、彼/彼女/それは～です「hän/se **on**」、私たちは～です「me **olemme**」のように変化します。

フィンランド語の語彙や文法は、他のヨーロッパ言語と共通点が少なく、独自性が高いため、習得が難しい言語として知られていますが、最終日には、簡単な挨拶や自己紹介等、参加者同士で会話練習も行いました。参加者は、10 月 31 日に実施される「フィンランドの学生・先生とのおしゃべり交流会イベント」に向けて、講座で学んだことを生かせるよう、練習に意欲的に取り組んでいました。

農学部キャンパスにて